



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月12日

上場会社名 株式会社ZenmuTech 上場取引所 東
コード番号 338A URL <https://zenmutech.com/>
代表者 （役職名）代表取締役社長CEO （氏名）阿部 泰久
問合せ先責任者 （役職名）取締役CFO兼CWO （氏名）酒井 茂輝 TEL 03（6260）6195
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第3四半期の業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第3四半期	430	△13.2	△69	—	△53	—	△42	—
2024年12月期第3四半期	495	—	93	—	99	—	72	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	△33.22	—
2024年12月期第3四半期	68.48	—

- （注）1. 当社は2023年12月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2024年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 2024年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。
3. 2025年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期第3四半期	1,027	616	59.5
2024年12月期	656	237	35.4

（参考）自己資本 2025年12月期第3四半期 611百万円 2024年12月期 232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	850	31.0	112	47.0	145	72.5	159	102.9	123.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 5「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 3 Q	1,359,600株	2024年12月期	1,072,800株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	—株	2024年12月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 3 Q	1,266,511株	2024年12月期 3 Q	1,062,811株

(注) 当社は2024年11月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2024年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数 (四半期累計) を算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく変更する可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnet及び当社ウェブサイトにて同日開示いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における当社を取り巻く経営環境につきましては、AIの進化、IoT・ドローンの普及、DXの進展により情報技術の可能性がますます広がる一方、サイバー攻撃のリスクも高まり、企業には迅速かつ高度なセキュリティ対策が求められています。

当社は「情報そのものを意味のない状態に変えて分散する」という秘密分散技術により、データが盗まれても情報漏洩を防ぐという新しいアプローチのセキュリティ技術を活用し、リモートワーク・ハイブリッドワークが定着した現在のニーズに沿った低コストでありながらセキュリティとユーザー利便性を両立する「ZENMU Virtual Drive(ZVD)」の法人向け販売を引き続き強化いたしました。

また、PC向けのZVDだけではなくIoT機器やドローンなど様々なデバイスや多要素認証などの用途に対し、技術供与や共同開発といった提携により秘密分散技術の適用領域と市場の拡大に取り組んでまいりました。

当第3四半期累計期間におきましては、VDIやDaaS利用時のFAT PCのデータ保護をより完全なものとするために、従来のセキュアFATソリューション「ZENMU Virtual Drive Enterprise Edition (ZEE)」の機能を制限した「ZENMU Virtual Drive Limited Edition(ZLE)」の提供開始、大規模な自然災害や広域災害時にもZVDを継続してご利用いただけるよう「ZENMU Virtual Drive ディザスタリカバリ オプション」のサービス拡大に向けた販売強化など、既存製品の販売強化や秘密分散技術の適用領域と市場の拡大に取り組んでまいりましたが、当上期に予定しておりました大型案件の受注が第4四半期にずれ込んだことが影響し、前年同期と比較しますと減収減益となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高430,116千円（前年同期比13.2%減）、営業損失69,227千円（前年同期は93,385千円の営業利益）、経常損失53,377千円（前年同期は99,590千円の経常利益）、四半期純損失42,073千円（前年同期は72,783千円の四半期純利益）となりました。

なお、当社は情報セキュリティ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は935,472千円となり、前事業年度末に比べ331,904千円増加いたしました。これは主に、東京証券取引所グロース市場に上場した際の増資等により現金及び預金が345,949千円増加したことによるものであります。固定資産は92,108千円となり、前事業年度末に比べ38,687千円増加いたしました。これは主に、ソフトウェアのリリース及び製品開発に伴うソフトウェア仮勘定の投入に伴い無形固定資産が25,904千円増加、投資その他の資産が12,609千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は1,027,580千円となり、前事業年度末に比べ370,591千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は410,682千円となり、前事業年度末に比べ2,711千円増加いたしました。これは主に、サブスクリプション契約大口顧客契約更新に伴い契約負債が42,698千円増加、借換えに伴い短期借入金が100,000千円増加、1年内返済予定の長期借入金が119,164千円減少、未払法人税等が5,065千円減少、その他が16,509千円減少したことによるものであります。固定負債は前事業年度末と比較して11,195千円減少し、残高はありません。これは長期借入金を全額返済したことによるものであります。

この結果、負債合計は410,682千円となり、前事業年度末に比べ8,483千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は616,898千円となり、前事業年度末に比べ379,075千円増加いたしました。これは、東京証券取引所グロース市場に新規上場した際の増資等により資本金が214,704千円及び資本剰余金が206,444千円増加、四半期純損失42,073千円の計上により利益剰余金が減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は59.5%（前事業年度末は35.4%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の業績予想につきましては、2025年3月27日付「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	507,266	853,216
売掛金	74,558	13,992
仕掛品	2,288	3,507
その他	19,454	64,755
流動資産合計	603,567	935,472
固定資産		
有形固定資産	2,246	2,419
無形固定資産		
ソフトウェア	11,767	25,368
ソフトウェア仮勘定	8,497	20,800
無形固定資産合計	20,264	46,169
投資その他の資産	30,909	43,519
固定資産合計	53,421	92,108
資産合計	656,988	1,027,580
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	119,164	—
未払法人税等	12,509	7,443
契約負債	205,952	248,650
賞与引当金	15,195	15,947
その他	55,149	38,640
流動負債合計	407,970	410,682
固定負債		
長期借入金	11,195	—
固定負債合計	11,195	—
負債合計	419,165	410,682
純資産の部		
株主資本		
資本金	219,650	434,354
資本剰余金	387,295	593,740
利益剰余金	△374,399	△416,472
株主資本合計	232,545	611,621
新株予約権	5,277	5,277
純資産合計	237,823	616,898
負債純資産合計	656,988	1,027,580

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自2025年1月1日 至2025年9月30日)
売上高	495,560	430,116
売上原価	42,756	53,107
売上総利益	452,804	377,009
販売費及び一般管理費	359,418	446,237
営業利益又は営業損失(△)	93,385	△69,227
営業外収益		
受取利息	34	977
補助金収入	6,818	36,553
その他	10	—
営業外収益合計	6,862	37,531
営業外費用		
支払利息	658	1,791
株式交付費	—	14,068
上場関連費用	—	1,000
お別れの会関連費用	—	4,821
営業外費用合計	658	21,681
経常利益又は経常損失(△)	99,590	△53,377
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	99,590	△53,377
法人税等	26,806	△11,304
四半期純利益又は四半期純損失(△)	72,783	△42,073

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

当社は、情報セキュリティ事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

当社は、情報セキュリティ事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年3月27日付で東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場にあたり、2025年3月26日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式240,000株の発行及び、2025年4月18日付で第三者割当増資による払込みを受け、資本金及び資本準備金がそれぞれ205,829千円増加しております。

また、新株予約権の行使により、資本金が8,874千円、資本準備金が615千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が434,354千円、資本剰余金が593,740千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	11,756千円	9,310千円